



2023年3月27日

## ～エアバッグやハンドルの販売を拡大～ ブラジルでセーフティシステム製品の生産能力を強化

豊田合成株式会社(本社:愛知県清須市、社長:小山享)は、南米におけるエアバッグなどのセーフティシステム製品の販売拡大に対応するため、ブラジルのグループ会社であるGDBR インダストリアコメルシオ(有)(以下、GDBR)の生産能力を強化します。

工場の建屋を拡張、エアバッグやハンドル用の設備を導入して生産能力を高めるほか、既存の工場も含めてレイアウトを最適化することで生産性向上を図ります。

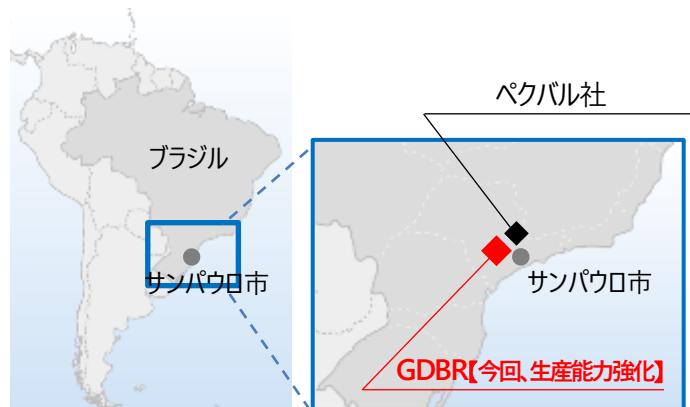
GDBRは、当社グループにとってのブラジル初の拠点で2015年に自動車部品の生産を開始して以来、内外装部品やドア・窓枠のシーリング用ゴム部品(ウエザストリップ製品)を中心に生産・販売を拡大してきました。今後も持続的な成長が見込まれる南米市場において、当社の主力製品であるセーフティシステム製品を主軸にカーメーカーのニーズにお応えし、更なる事業成長を目指していきます。

### GDBRの概要

設立	2013年3月
所在地	ブラジル連邦共和国 サンパウロ州 イタペチニンガ市
資本金	9,000万リアル → 増資後 1億1,800万リアル
面積	土地 約220,000m <sup>2</sup>
	建屋 約18,000m <sup>2</sup> → 拡張後 約22,800m <sup>2</sup>
生産品目	セーフティシステム製品(運転席・助手席用エアバッグ、サイドエアバッグ、ハンドル) 内外装部品(インストルメントパネル構成部品) ウエザストリップ製品(ガラスラン、ドアウエザストリップ)
従業員数	449名(2023年1月末)
導入設備	エアバッグの組付装置、ハンドルの成形・組付装置
投資金額	5,600万リアル(約14億円*) ※1リアル=25円で計算



新棟建設後のイメージ



ブラジルでの生産体制